

「南町田駅周辺地区 拠点整備基本方針(案)における

- ① グランベリーモールと鶴間公園間のケヤキ通り廃止反対
- ② 鶴間公園多目的運動広場北側の線路沿いに幅16mの道路新設反対」を求める

請願

請願要旨

市は過去11回「駅北口開発」の議題で実施された「南町田駅周辺地区整備検討会」において住民と事前に協議・検討もなく突如12回目の昨年11月4日に「南町田駅周辺地区まちづくり構想(案)」を完成時の具体的なイメージができない情報として提示されました。

- ① この構想(案)は市と東急電鉄2者による区画整理事業で鶴間公園とグランベリーモールの一体化を図るため鶴間公園内に「住み替え住宅と道路建設」及び「ケヤキ通りの廃止」が計画されていました。4月23日の「第15回検討会」において、市は「住民説明会」「住民意見の公募」での多くの住民の反対意見を反映し、南地区唯一緑豊かな都市公園として年間を通し多くの市民の憩いと癒しの場所であり、また災害時市の指定避難広場である公園の「住み替え住宅」を撤回されたことは大いに評価できると受け止めています。しかし商業圏と公園の一体化を図るため、その間にある「ケヤキ通りの廃止及び公園内の道路建設」は計画から外されていません。「ケヤキ通り」は住民の駅に通じる生活道路であり、通学路でもあります。廃止による現状よりひどい交通渋滞と住宅地区への車の侵入が懸念されます。商業圏と公園の一体化は立地の観点から廃止ではなく、ブリッジ(30メートル幅)で技術的には十分実現できるものと思われまます。
- ② 公園内の「道路建設」は市として強く撤回しない姿勢を見せております。「ケヤキ通り廃止」による交通渋滞を緩和することなのですが、貴重な樹木を切り倒すだけでなく、倍増が予測される車両を「ユリの木通り」に負担させることになり、現状よりひどい交通渋滞と「ユリの木通り」も通学路であり児童を含めた安全の不安が予測されます。むしろ246号線及び16号線への来客車両の分散を優先すべきと考えます。

また、近年多いゲリラ豪雨の際ゆりの木通りへ滝状態で流れ込む恐れがあります。

「市民が主役の街づくりを支援する」と町田市は謳っています。南町田周辺地区まちづくり構想(案)は市民の共有財産である都市公園を行政が私物化し、開発事業を民間に提供委託するのは都市公園法にも反し「街づくり条例の範疇外」であり、市が行った住民意見公募に278通もの意見が寄せられ、住民の関心が非常に高いことを示しています。市長も本会議において「住民の意見を重く受け止め何ができるか検討する」と明確に発言されており住民意見を尊重し今後も検討協議を継続していただきたく要望するものであります。

請願項目

- ① グランベリーモールと鶴間公園間のケヤキ通り廃止反対
- ② 鶴間公園多目的運動広場北側の線路沿いに幅16mの道路新設反対